

日野川の源流と流域を守る会

会 報

# ひのがわ

— 第30号 —

## ＝ 目 次 ＝

- 平成29年度 総会・講演会 ..... 2～3
- 15周年記念事業報告 ..... 4～5
- 日野川源流探訪 ..... 6
- 外来植物除去活動&わくわく自然体験 ..... 7
- 平成のふいご祭と日野川写真塾、奥大山古道ウォーク2016 ..... 8
- 平成28年度 森と水に親しむ活動を支援 ..... 9
- 日野川流域憲章記念事業 学習資料を作成！ ..... 10
- 幹事の部屋 ..... 11
- 今後の活動予定、会員募集 ..... 12

表紙写真：日野川（米子市）

# 平成29年度

## 総会・講演会が盛大に開催されました



平成29年2月17日(金) 場所:米子市文化ホール イベントホール

平成29年度日野川の源流と流域を守る会の総会・講演会を開催し、約120名の参加がありました。

はじめに、豊島会長より「大山から日野川に流れ込んだ水が、地域の自然を豊かにしている。本会の取組を広げ、さらに豊かな川にしていきたい」と挨拶があり、続いて事務局から平成28年度事業報告及び平成29年度事業計画案について報告があり、原案のとおり承認されました。



### 平成29年度 活動の基本方針を決定(昨年から継続)

- 日野川の大切さを伝え、守り育てるという会の原点を大切にし、その理念の輪を広げる。
- 森林・河川保全等のボランティア活動に積極的に参加する。
- 上流域と下流域の幅広い交流を活発にする。
- 日野川の将来を担う子ども達の積極的な育成を図る。
- 日野川流域のすばらしさを積極的に伝えていくとともに活動でメッセージを伝えていく。
- 連携を深め、より良い活動を行う。

### 平成28年度収支決算

#### 1 収入の部

(単位:円)

区分	決算額	備考
繰越金	458,885	平成27年度より
会費	850,000	
県補助金	1,881,455	H27河川整備基金助成金 H27・H28鳥取県森と海の交流体験プロジェクト事業
その他	18,614	鳥取県社会福祉協議会負担金、預金利息等
計	3,208,954	

#### 2 支出の部

(単位:円)

区分	決算額	備考
会議費	51,159	総会、幹事会
事業費	1,554,924	
助成金	336,248	3団体に助成
広報費	162,000	会報29号
事務費	368,132	郵送料、封筒作成費ほか
予備費	0	
計	2,472,463	

※残額736,491円は、次年度に繰越

### 平成29年度収支予算

今年度も、総会・講演会や森や川・海を守る活動、歴史や文化・自然を学ぶ活動、上流域と下流域の交流推進活動、日野川流域憲章記念事業、などの活動を行います。

#### 1 収入の部

(単位:円)

区分	前年度予算額	本年度予算額	増(一)減	備考
繰越金	458,885	736,491	277,606	平成28年度より
会費	773,100	850,000	76,900	H28会費収入実績額
県補助金	1,600,000	1,002,000	▲598,000	H29鳥取県民の森づくり推進事業 H28鳥取県森と海の交流体験プロジェクト事業
その他	598	100	▲498	預金利息等
計	2,832,583	2,588,591	▲243,992	

#### 2 支出の部

(単位:円)

区分	前年度予算額	本年度予算額	増(一)減	備考
会議費	70,000	150,000	80,000	総会(講演会を含む)、幹事会
事業費	1,400,000	1,350,000	▲50,000	イベント開催に要する経費
助成金	750,000	600,000	▲150,000	4団体
広報費	330,000	200,000	▲130,000	会報30号、31号
事務費	210,000	210,000	0	郵券料、封筒作成、用紙代等
予備費	72,583	78,591	6,008	
計	2,832,583	2,588,591	▲243,992	

# 講演会

## 「アユたちが見た日野川2017」

～人と、川・アユの関係を考える～

総会に引き続き、日野川で長年にわたりアユや河川生物の生息状況を調査している講師から日野川の現状や環境の変化をわかりやすく解説いただき、今後のアユ等の保全のための方策のほか、日野川やそこに生息する生物との関わり方について提案いただきました。



講師 高橋 勇夫氏

(たかはし河川生物調査事務所 代表)



### 近年の河川環境の急激な変化

川虫（ヤマトビケラの仲間）の異常繁殖→コケの消失

大型糸状緑藻の繁殖 川全体を覆うことがある



### まだまだ多い「魚が上れない魚道」



### 川の環境をアユの視点で見直す ・良好な生息環境を守る(水質、藻類)

第一発電所～黒坂付近にアユが定着しない



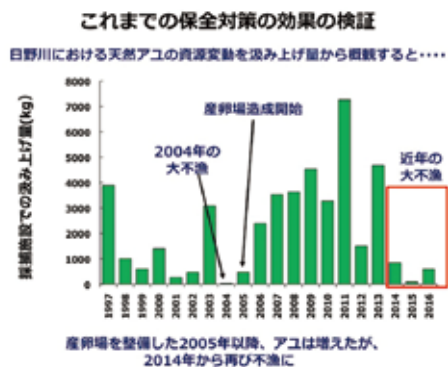
### 流域全体で持続的にアユ資源を活用する ・アユ資源で流域全体が得する仕組みづくり



ジュニア鮎釣り教室 (日野川水系漁協HP)

### 新たな問題点・課題

過剰取水による渇水



### 近年 (2014～2016年) の大不漁に 関して考えられること

1. 山陰地方全体で同様に発生  
・河川個別の原因ではない(海域に原因?)  
→河川内に“悪者”を探しても無駄
2. 3年間の大不漁は過去にあまり例がない  
・資源回復に時間がかかる可能性あり
3. これまでの対策だけでは資源は安定しない  
・徹底した親魚保護は必須

レポート

# 15周年記念事業報告

平成28年度は本会の発足15年目を記念して  
様々なイベントを行いました！



## 1 日野川源流探訪ルートへの案内看板整備

日野川の源流は、鳥取県、広島県、島根県の県境に近い日南町の国有林内にあり、毎年、「日野川源流探訪」として、会員の皆さんと自然を満喫しながら日野川源流の碑を目指して散策しています。

この源流探訪をより安全に実施するため、ルート上の3箇所に案内看板を追加で設置しました。作業に御協力いただいた幹事の皆さん、ありがとうございました！



## 2 缶バッジラリーの実施

各イベントごとに8種のオリジナル缶バッジを作成し、参加記念品として配布しました。缶バッジラリーは参加者の皆さんから非常に好評でしたので、平成29年度も継続する予定です。



左上から時計回りに

- 森 (5月 森林整備作業体験&植樹祭)
- マグロ (6月 写真塾&境漁港水揚見学)
- トンボ (7月 日野川一斉清掃)
- オオサンショウウオ (7月 希少生物を守る体験学習※参加者限定)
- 炎 (11月 写真塾&ふいご祭)
- セイヨウタンポポ (10月 外来植物除去活動)
- カワセミ (9月 日野川源流探訪)
- ハマヒルガオ (8月 海岸清掃&植物等学習会)

### 3 15周年記念植樹 H28.11.18 場所：日吉津村役場

本会の発足15周年を記念して日吉津村役場でサルスベリ3本の記念植樹を行いました。

豊島会長から「日野川は県西部の住民に恵みをもたらす宝であり、次代に受け継いでいく」、またこの度新たに会員になった日吉津村の石 村長から「日野川への日頃の感謝を込めて植樹を行いたい」と挨拶がありました。



▲豊島会長



▲日吉津村 石 村長



当日は、役員や日吉津保育園の園児30名が参加して、にぎやかに植樹を行いました。

平成14年に当会の設立を記念して日南町に植樹した桜の木は、現在も大きく成長しています。今回植えたサルスベリもすくすくと育ち、美しい日野川流域の風景の一つとなってくれることでしょう。



▲力を合わせて一生懸命植えました



▲平成14年に植樹された桜（日南町）

活動  
レポート

# 日野川源流探訪

H28.9.24 場所：日南町新屋



## いつまでも残したい美しい日野川の源流を訪ねて

本会のメインイベントである「日野川源流探訪」を開催しました。今年も大山自然歴史館の矢田貝館長を講師に迎え、自然解説を受けながら日野川源流の碑を目指しました。

『日野川の源流を一度見てみたい』という方に多く参加いただきました。道中はロープを使って橋を渡ったり、斜面を登ったりと厳しい場所もありましたが、貴重な自然に触れながら楽しく目的地に向かい、全員が無事に到着することが出来ました。往復約7kmの行程でしたが、とても充実した活動となりました。



現在、源流探訪の新ルートを検討中です。今後、新たな日野川源流探訪に御期待ください！



- 自然に触れて歩くのは楽しいです。
- ロープでの橋渡りなど色々な体験が出来て良かった。
- 矢田貝先生のガイドがとても良かった。
- 思った以上に厳しい道のりだったが、歩いて良かった。

参加者の  
声

活動  
レポート

# 外来植物除去活動&わくわく自然体験

H28.10.16 場所：江府町御机（鏡ヶ成）

## 外来植物の駆除と自然観察会で自然の恵みを満喫！

希少な自然環境が残されている大山隠岐国立公園内で、本来の生態系や景観を脅かす外来植物のブタナとセイヨウタンポポの駆除作業を行いました。約40名による2時間の作業で、軽トラックの荷台が一杯になるほど駆除できました。昼食では名物団子汁が振る舞われ、午後からは植物観察コースと山登り入門コースに別れ、秋の鏡ヶ成の自然を満喫しました。



▲鳥取県自然保護監視員が外来植物の駆除の必要性をクイズ形式で説明しました。



休暇村奥大山特製の郷土料理「団子汁」▶



▲植物観察コースは、楽しい解説に聞き入ってしまいました。



▲山登り入門コースでは、環境省のアクティブレンジャーが山登りのいろはをわかりやすく解説しました。

### ●外来植物除去活動

- ・外来植物の生え具合を見たら、こんなにあるのかと思ったが、マンパワーで殆ど駆除できてよかった。
- ・微力でもこのような事に参加できるのは嬉しいです。

### ●わくわく自然体験

#### 〈植物観察コース〉

- ・動植物の名前など説明があり、とても参考になりました。一度では覚えることが出来ないが、何回か参加して覚えたい。
- ・花の少ない時季ながら、葉を見せての説明があり充実していた。

#### 〈山登り入門コース〉

- ・自然に触れて、楽しく過ごせました。
- ・ゆっくりのスピードで楽しく登山ができました。

参加者の  
声

レポート

# 平成のふいご祭と日野川写真塾

H28.11.6 場所：日野町上菅、日南町霞、江府町御机 ほか



砂鉄投入体験

## 「たたら」の文化・歴史を体験し、写真撮影について学びました！



たたら操業の解説

日野町で開催された「第3回平成のふいご祭り」<sup>※(注1)</sup>に参加し、かつて日野郡で栄えた「たたら製鉄」の操業を体験した後、日野郡の写真撮影スポットを巡る写真撮影教室を開催しました。参加者は歴史や写真撮影について学びながら、秋の日野郡を満喫しました。

※(注1) ふいご祭りとは、旧暦の11月8日に鍛冶屋が仕事を休み、鞆(ふいご 炉に空気を送る道具)に酒食をお供えして祝っていたことが起源

## 日野川写真塾



石霞溪(日南町)



旧日野上小学校のオオイチョウ(日南町)



御機の茅葺小屋(江府町)

- 製鉄の高度な技術に感動した。
- 普段行かないいろんなところに行け新鮮で、新しい視点を教えてもらったりで、とても刺激を受けた。
- せっかくなので、最後に皆が撮った写真を見せ合えれば良いと思いました。

参加者の声

レポート

# 奥大山古道ウォーク2016

H28.11.13 場所：江府町御机・下蚊屋



## 紅葉した奥大山で自然や歴史を感じる！

13回目となる奥大山古道ウォークは、快晴の中で行われ、地元ベテランガイドの案内で歴史あふれる大山古道を散策し、参加者は森林や水の大切さを改めて実感したようでした。

また古道散策の後、江府町下蚊屋までバスで移動して下蚊屋荒神神楽を鑑賞し、歴史ある伝統芸能に大満足の様子でした。





## 平成28年度 森と水に親しむ活動を支援

川や自然とふれあう体験を通して、将来を担う子どもたちなどに日野川流域の河川や森、水等の自然環境や歴史文化等について理解を深めてもらう活動を支援しました。

### ノルディックウォークin奥日野及びたたらフットパスウォークの開催 【伯耆国たたら顕彰会】

伯耆国たたら顕彰会の主催で、平成28年11月6日(日)に「ノルディックウォークin奥日野」、平成28年11月27日(日)に「たたらフットパスウォーク～福々めぐりツアー～」が開催されました。

「ノルディックウォークin奥日野」では、日野町上菅を出発して日野川沿いから奥日野の山里へと歩き、ガイドの解説を聞きながら地元神話の名所を訪ねました。当日は、日野郡の文化遺産である“たたら製鉄”を当時の製法により復活し体験できる「平成ふいご祭 ミニたたら操業体験」も併せて開催したことで、出発地点である菅福社会体育館には250人以上の観光客等が訪れました。

また、「たたらフットパスウォーク～福々めぐりツアー～」では、まず、日南町の『福』が付く神社をバスで巡り、その後、日南町花口から日野町上菅へと抜ける新たに整備した都合山のルートを歩き、日野川支流の清流や上菅五滝などを楽しみました。特に「福栄神社」では、イチヨウの葉が落ち、金色の絨毯のようになって、参加者を喜ばせました。

この二つのイベントには総勢77名の参加があり、日野川流域の自然や歴史に実際に触れられる貴重なイベントとなりました。



### 募集予定 平成29年度森と水に親しむ活動支援事業

平成29年度も引き続き、日野川の源流と流域の森と水に親しみ、学ぶ活動を行う団体等を支援します。今年度は、4団体を支援する予定です。平成29年度第1次募集は4月17日から開始しました。

活動計画のある方は、ぜひ応募ください！

支援対象	・日野川及びその流域の森で行われる森や水に親しみ学ぶ活動やイベント ※親睦やレクリエーションではなく、森や水辺の自然やこれらに関わる歴史・文化などを学ぶことが主目的となっている活動であること。
対象団体	(1)団体・グループ 米子市、境港市、西伯郡又は日野郡に所在する小・中学校、PTA、会社、企業グループ、自治会、子ども会、公民館、ボランティアグループ、NPO団体など (2)本会の会員 ・個人会員：概ね10人以上が参加する対象事業で会員の参加が全体の2分の1以上のもの ・法人会員：概ね10人以上が参加する対象事業のもの
対象経費	講師謝金、講師旅費、消耗品費、使用賃借料、通信運搬費、保険料など
支援額	1団体当たり10万円（会員は15万円）

※詳細については、本会ホームページを御覧いただくか、事務局まで御連絡ください。

「森と水に親しむ活動支援事業」

トップページ：<http://www.pref.tottori.lg.jp/219649.htm>

日野川の源流と流域を守る会

検索

日野川流域憲章記念事業

学習資料『森と海はつながっているよ!』を作成!

森と海はつながっていることを学び、自然保護意識の醸成と上下流域の人々の交流を促進することを目的に、小学校高学年以上を対象とした全16ページの学習資料を作成しました。

本資料は本会イメージキャラクターの「ひのりん」が日野川源流大使の「オッサンショウオ」、「パイロットマン」、「パッキン☆マン」とともに、森林の重要性、日野川流域の生き物の多様性、自然公園、自然保護活動の必要性を学ぶことで、“森と海はつながっている”ことの理解を深めるという内容です。

全3章の構成になっており、章ごとに写真を交えながら日野川を取り巻く自然環境や保護活動などについて学習できます。

ここでは、学習資料の一部を写真で紹介します。

今後、日野川流域の小学校やイベント時に配布し、日野川流域の自然や生態系を学ぶ学習資料として活用する予定です。

また、本資料を御希望の方は事務局まで御連絡ください。

(※数量に限りがあるため、希望数に応じられない場合があります)



第1章

森と海のつながりについて学ぼう! ~上下流の交流~



第2章

日野川流域の生き物を学ぼう!



第3章

自然公園・自然保護活動について学ぼう!



# 幹事の部屋

日野川の源流と流域を守る会の幹事を紹介します。

## 発足15年を振り返って

私は、日野川の源流と流域を守る会の発足当初に入会させていただきました。日南町出身で、現在は米子市内に家族4人で生活しております。

当会も昨年で15周年を迎え、会員も増加してきて嬉しく思います。当会も年月を重ねて来ましたが、今日に至るまで多くの方々ご協力を頂きましたことに感謝申し上げます。これからも自然を大切にして災害の無い日野川の流域を守って行きたいと思えます。

また、地球温暖化が進む中で、流域の環境を守る取り組みを考えながら活動していくことが大事になってきますので、当会のイベントに多くの方々に参加をいただき自然の大切さを理解していただけるようにしていきたいと思えます。是非とも協力をお願い致します。

私は現在、鳥取県地球温暖化防止活動推進委員をしています。

主な活動としては、地球温暖化防止につながる行動を抑止して行く取り組みを行っています。取組の内容については色々ありますが、またの機会に皆様に今後御協力頂きたいと思えます。

今後とも日野川の源流と流域を守る会の発展に会員皆様のご協力をお願いいたします。



幹事長 長谷川 武司

## にぎやかだった日野川

野鳥の会におられた先輩の先生から幹事を引き継ぎ、すでに10年が経過しました。近年、日野川流域の人や自然の変化は急激であり、このまま衰退の一途をたどらぬように、なにか歯止めをかけたい思いでいっぱいです。

かつては、副業として日野川で漁をしている人も多く、子どもの頃には近所の人からいただいたドジョウからアユまでよく食卓にのぼっていました。

しかし、輝く水面で歓声をあげる夏休みの子どもたちの姿もなく、釣り人も魚も激減してしまい、絶えないのは水の流れだけになってしまいそうです。

鳥類調査の折、日野川のすぐ近くに住むおばあさんが、「前は、いっぱい魚釣りの人もおってにぎやかだったけど、今は鳥に全部魚を食われとる。」と話されました。人為的な河川環境の悪化も心配ですが、近年のカワウやカワアイサ、そしてサギ類など魚食の鳥の増加は、自然豊かな日野川にとって大きな問題です。

時代の流れにもまれ多様な文化を育んできた日野川が、自然環境が損なわれることなくいつまでも多くの人を引きつける清流であってほしいと思えます。



幹事 達磨 晋

# 案内 平成29年度 これからのイベント・行事

【H29.4.10現在】

時期	イベント名	内容	開催場所
5月～10月	日野川写真コンテスト	日野川流域の自然、歴史、文化などを対象にした写真コンテストを開催します。	—
5/28(日)	森林整備体験交流会	日南町の水源涵養林で間伐などの森林整備作業を見学・体験し、聖滝の散策、古民家見学を行います。	日南町宝谷ほか
6/24(土)	日野川写真塾 & 境漁港水揚げ見学	境漁港でマグロの水揚げを見学し、その後、日野川流域で写真撮影勉強会を開催します。	境港市ほか
7/2(日)	日野川一斉清掃 & 海岸植物等観察会	日野川一斉清掃に参加し、日野川河口・海岸付近の植物等の学習会を開催します。	米子市古豊千ほか
7月中下旬	日野川の自然環境と希少生物を守る体験	専門家によるオオサンショウウオ生態調査を見学し、河川生物の観察会を開催します。 ※日野郡内の生徒・児童対象	江府町又は日野町
8/27(日)	日吉津海岸クリーン作戦	日吉津海岸一斉清掃に参加します。	日吉津村海岸
9/23(土)	日野川源流探訪	専門家の自然解説を受けながら日野川源流の碑を目指して散策します。	日南町新屋
9月下旬～10月上旬	日野川ラフティング体験	日野川でラフティング(川くだり)体験と自然観察会を開催します。	日野町
10/15(日)	外来植物除去活動 & わくわく自然体験	秋の大山一斉清掃に参加し、ブタナ等の外来植物の除去作業を行った後、植物観察会や軽登山を実施します。	江府町鏡ヶ成
11月上旬	奥大山古道ウォーク	専門家の自然・歴史解説を受けながら、大山古道を散策し、荒神神楽を鑑賞します。	江府町鏡ヶ成ほか

(注1) イベント開催日、内容は、変更される場合があります。

(注2) イベントの詳細内容や参加申込み方法は、募集の際(概ね1ヶ月前)に案内します。

## 日野川の源流と流域を守る会

# 会員 大募集中!

当会の活動は会員の皆さんに支えられています

「日野川を日本一美しい川」にするため、皆で日野川の源流と流域を守る会の活動に参加しましょう!

お申込み方法や会費などのお問い合わせなどについて、お気軽に下記事務局までご相談ください。Eメールやファクシミリは、いつでも受け付けております。なお、電話によるご相談は、月曜日から金曜日までの午前8時30分から午後5時15分まで受け付けております。

## 日野川流域憲章

### 【前文】

私たちは悠久の時の流れの中で、多くの恵みをもたらしてくれた日野川、その流域の素晴らしい自然・環境を守り、日野川の清流化に向けて活動します。

日野川はたくさんの動植物の生命を育み、たくさんの人たちの生活も支えています。

また、日野川流域には伝統ある生活文化・芸術が育まれています。

私たちは日野川の歴史・自然を学び、よく理解して、より豊かできれいな日野川の流れを後世に残すために、みんなで力をあわせて活動します。

そのために、ここに「日野川流域憲章」をつくり、多くの人たちの参加・協力をよびかけます。

### 【日野川流域憲章(理念)】

- ・日野川流域の自然・環境を守り、川と私たちとの素晴らしい共存に努めます。
- ・日野川のきれいで豊かな流れが、いつまでも続くように美しい緑の森を守り、育てるように努めます。
- ・日野川流域の交流・連携をすすめます。
- ・日野川流域の歴史・生活文化を学び、その知識を次世代に引き継ぐように努めます。
- ・日野川流域に培われてきた、さまざまな価値ある魅力を大切に、継続的な地域の発展に努めます。
- ・日野川流域を愛する人たちの輪が広がるように努めます。

平成20年8月23日  
日野川流域憲章制定実行委員会